

リサイクルプラザ宮の沢

使い捨て食器の代わりに、繰り返し使えるリユース食器でエコなイベントを！



ごみの減らし方や資源の有効活用について情報発信をしています。教室やイベントなど、楽しく学びながら実践できる場もあります。



イベント会場のごみ箱。札幌市内にて

行楽やイベントでよく使われる使い捨て容器……。一度使っただけで大量のごみが出ます。中にはごみ箱からあふれて地面に散らばっている場合も。

リサイクルプラザ宮の沢ではリユース食器の貸し出しを行っています。

基本料金 1,000 円 貸出各 200 個まで

対象：市内において、飲食を伴うイベントを主催する町内会などの地域団体・学校・NPO 等。紛失・損失の場合は、実費負担をいただきます。



申込・問合せ リサイクルプラザ宮の沢 671-4153

イベントの 1 か月前までにお電話でお申し込みください。

種類	サイズ等
大皿	19cm×4cm
中皿	16cm×2.5cm
どんぶり	15.5cm×6.5cm
PP コップ 大	430cc
PP コップ 小	280cc
マグカップ	230cc
トレー	45.5cm×35cm
スプーン	ステンレス製
箸	竹製

リサイクルプラザ宮の沢

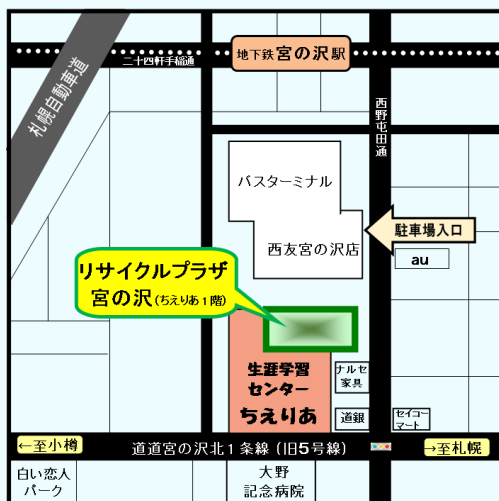
開館時間／ 10:00～18:00

休館日／ 月曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始（12/29～1/3）

交通機関／ 地下鉄東西線「宮の沢駅」から
地下通路直結（西友宮の沢店隣）

住所／ 札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目
1-10 ちえりあ 1 階

電話／ 671-4153 FAX／ 671-4156



編集後記

プラスチック削減のため、2018 年の主要 7 か国首脳会議では「海洋プラスチック憲章」が定められました。（日本とアメリカは署名せず）日本は「2030 年までに容器包装プラスチックの 6 割をリユース・リサイクルする」という目標を立てました。一方、世界では使い捨てプラスチックの使用をすでに禁止・制限している国や地域があります。EU では 2030 年までに使い捨てプラスチックをゼロにすると発表しています。



今号の「ごみニュケーションさっぽろ」を読んだ感想・要望・ご意見がございましたら、メール・FAX・郵便にてお寄せください。

●E-Mail：recycle-hp@sapporo530.or.jp

メールのタイトルに「リサイクルプラザ宮の沢」と入れてください。

●郵便：リサイクルプラザ宮の沢「ごみニュケーションさっぽろ」編集部

〒063-0051

札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目 1-10 ちえりあ 1 階

<http://www.sapporo530.or.jp>



P1のクイズの答えはCです。

A のセルロースの原料は木などの植物繊維です。B のリネンは亜麻という植物から作られています。C のナイロンは石油を原料とした「ポリアミド」という合成樹脂から作られています。

さっぽろ紙ルール

読み終わったら集団資源回収



リサイクルプラザ宮の沢ごみ減量情報紙

ごみニュケーション

2023. 9. 20

発行／リサイクルプラザ宮の沢指定管理者

NPO 法人 環境り・ふれんず

監修／札幌市

〒063-0051 札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目 1-10 ちえりあ 1 階

TEL 671-4153 FAX 671-4156



さっぽろ

NO. 47



ごみ減量クイズ

Q 次の製品のうち、原料にプラスチックが使われているものは？

A: セルロースのふきん

B: リネンの服

C: ナイロン製タオル

答えは P4



特集 脱プラ生活のススメ ～プラスチックごみを減らす工夫～

- プラごみの何が問題なのか
- 私たちは知らずにプラスチックを海に流している？
- まずは使い捨てのプラスチックから
- 私たち、脱プラしてます♪



特集

脱プラ生活のススメ ～プラスチックごみを減らす工夫～

プラスチックはとても便利な素材で、世界的な生産量は年々増えています。しかし近年、過剰なプラスチックの生産と使用、廃棄による環境汚染問題が世界中で報告されています。これ以上環境に負荷をかけないように、プラスチックの使用を見直す動きが世界で広がっています。

プラごみの何が問題なのか

自然分解されない

プラスチックは石油由来の原料によって人工的に作られたもので、自然分解されません。

都市から出たプラごみも、風に飛ばされ川からいずれ海へ流れます。

紫外線や波にさらされて劣化し、くだけて 5 mm 以下のマイクロプラスチックと呼ばれる大量の破片となっても、自然界に存在し続けます。



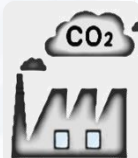
リサイクルにも焼却処分にも二酸化炭素(CO₂)が発生する

「全てリサイクルすれば万事 OK」？いいえ、プラごみをリサイクル工場に運んだり、原料に戻す過程にもエネルギーを使います。

また、一口にプラスチックと言っても、ポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)など様々な種類があり、単一素材に分けることが難しいのです。

日本で出たプラごみのうち、実際に再び原料するためにリサイクルされているのは 25%程度で、多くは燃やされています。

焼却時には二酸化炭素が発生するため、地球温暖化にも影響します。



生き物への健康被害

プラスチックは製造時に化学物質が使われるほか、それ自体が有害物質を吸着するという性質があります。

えさと間違えて海の生物や鳥などが口にしてしまったプラスチックは、胃の中で分解されずに残ります。それら生物の命を脅かしているほか、食物連鎖で人間にも健康被害が及ぶと懸念されています。

生分解性プラスチックに置き換えてレジ袋などを作る例もありますが、分解に一定の期間がかかるため、やはり生物が口にする可能性があります。



私たちは知らずにプラスチックを海に流している？

●ポリエステルやアクリルなどの化学繊維の衣類は、洗濯のたびに「マイクロファイバー」という微細なプラスチックが発生します。

その一部は家庭の洗濯機や下水処理場のフィルターを通過して、海に流れ出ます。また、洗濯ネットそのものにプラスチック製の物が多いです。

●一部の洗剤や歯磨き粉などに使われている「スクラブ」、「マイクロビーズ」もプラスチックです。

●“洗うだけで香り長持ち～”と謳う香り付きの柔軟剤には、目には見えない極小のプラスチック「マイクロカプセル」が使われています。空気中にも拡散され、本人だけでなく周囲の人がプラスチック片を吸い込む恐れがあるとともに、「香害」の原因にもなっています。



まずは使い捨てのプラスチックから

プラスチックを一切使わずに生活することはできなくても、使わずに済ませられることはたくさんあります。始めに取り組みやすいのは「使い捨てプラスチック」を減らすことです。

日本はアメリカに次いで、一人当たりの容器包装プラスチック使用量が世界で 2 番目に多い国です。

野菜や果物は一つ一つ袋やケースに入れていることが多いですが、こういった包装は本当に全て必要でしょうか。菓子類も当たり前のように個包装されたものが多いですが、例えば板チョコと一粒ずつ袋に入れられたチョコレート、どちらのプラごみが少ないかは、一目瞭然です。

また、スーパーやコンビニにある持ち帰り無料の使い捨てのストローやスプーン、フォーク、箸。それらは家にあるのでは。

量り売りの店や、容器持参に理解のある店で、マイ容器利用で製品を購入すればプラごみはゼロです。

リサイクルに出す前の買い物の段階から、プラスチックを減らす「脱プラスチック」は始まります。



私たち、脱プラしてます♪



新聞紙でゴミ入れを作り、常時ストック。ビニール袋は使いません。(手稲区、Eさん)



同じくいろいろな大きさで作ったゴミ入れ。小さなものは苗ポットにも利用。(手稲区、Sさん)



使い捨てラップの代わりに、みつろうラップを使っています。(手稲区、Sさん)



どこへ行くにもマイボトルを持参! 夏は冷たく、冬は暖かく持ち歩きできるし、ペットボトル飲料を買うより断然お得!(中央区、Hさん)



屋台のあるイベントには、カトラリーセットを持っています♪(白石区、Wさん)



家庭菜園のおすそ分けはビニール袋ではなく新聞紙で。生ゴミ入れにも活用♪(西区、Sさん)



電子レンジにも使える 20 年来使用の蓋。使い捨てラップは使いません。(手稲区、Yさん)



マイバッグは傘布で手作りしました。撥水生地なのでちょうどいいです。(東区、Iさん)



晒(さらし)で作った洗濯ネットを使っています。(手稲区、Eさん)



育てたヘチマを乾燥させてタワシに! 食器洗いのほか、身体洗いに。(手稲区、Tさん)

他にもいろいろ!



食器洗いのスポンジに天然素材を使用。ジュートと綿糸は自作です。(手稲区、Hさん)



おしぼりを持ち歩き、店の不織布のおしぼりは使いません。ケースはプラスチックですが、30 年以上使っています。(西区、Nさん)

お茶は茶葉で淹れて飲みます♪ティーバッグも実はほとんどがプラだから。(豊平区、Mさん)

天然素材の服を着ています。肌にもやさしい。(南区、Yさん)

プラ製ではなくガラス容器の製品を選んで買うようにしています。(厚別区、Yさん)

プラごみを減らす方法はさまざまですが、簡単な工夫ですぐに始められることもあります。実際にやってみると、なんといってもエコだし、使い捨ての物を使うより気持ちいいんです。安い使い捨て製品を度々買うより経済的にお得な面も。できることから脱プラ生活、始めてみませんか。

